

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)

【公開番号】特開 2002-18093 (P2002-18093A)  
【公開日】平成 14 年 1 月 22 日 (2002.1.22)  
【出願番号】特願 2000-207107 (P2000-207107)  
【国際特許分類第 7 版】  
A 63 F 7/02  
【FI】  
A 63 F 7/02 334

【手続補正書】  
【提出日】平成 16 年 7 月 6 日 (2004.7.6)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】特許請求の範囲  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

遊技の進行に関わる遊技情報に基づいて編集されたコマンドを送信するとともに、遊技を統括的に制御する遊技制御手段と、

該遊技制御手段からのコマンドに基づいて、各種装置を制御する従属制御手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、遊技機の電源遮断後においても、前記遊技の進行に関わる遊技情報を記憶保持可能な遊技情報記憶保持手段を備えた遊技機において、

前記遊技情報記憶保持手段は、

前記遊技情報を記憶保持するアクセス領域と、

前記アクセス領域に記憶保持された遊技情報の少なくとも一部とプログラム制御情報とを記憶保持するバックアップ領域とから構成され、

前記遊技制御手段は、前記従属制御手段にコマンドを送信する前に、該送信に関わる遊技情報とプログラム制御情報とをバックアップ領域に保存してから前記従属制御手段にコマンドを送信することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記遊技制御手段は、前記従属制御手段へのコマンド送信の実行後に、バックアップ領域に保存された遊技情報とプログラム制御情報とを無効化する無効化手段を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

当該遊技機の電源電圧の監視により所定以上の電圧降下で停電発生を検出し停電検出信号を出力する停電検出手段を備え、

前記遊技制御手段は、

前記従属制御手段にコマンドを送信する前に、該送信に関わる遊技情報とプログラム制御情報とをバックアップ領域に保存するバックアップ手段と、

前記停電検出信号に基づいて停電検出時の遊技情報およびプログラム制御情報をアクセス領域に保存する停電処理バックアップ手段と、

前記バックアップ手段により保存されたプログラム制御情報または前記停電処理バックアップ手段により保存されたプログラム制御情報のどちらに基づいて停電復帰するかを選択する復帰アドレス選択手段と、を備え、

前記復帰アドレス選択手段は、電源再投入時に、

前記バックアップ手段により保存されたプログラム制御情報が有効な場合には、当該プログラム制御情報に基づく停電復帰を選択する一方、

前記バックアップ手段により保存されたプログラム制御情報が無効な場合には、前記停電処理バックアップ手段により保存されたプログラム制御情報に基づく停電復帰を選択することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記遊技制御手段は、前記バックアップ領域に保存した遊技情報とプログラム制御情報とに基づいて、停電からの復帰時にアクセス領域の遊技情報およびプログラム制御情報を復元する復元手段を備え、

前記バックアップ領域に保存される遊技情報とプログラム制御情報に復帰アドレスを予め設定し、前記従属制御手段へコマンドを送信する処理の途中に停電が発生した場合には、停電からの復旧時に該コマンド送信処理の予め定められた位置より遊技制御を再開可能としたことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかひとつに記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

第 1 の発明は、遊技の進行に関わる遊技情報に基づいて編集されたコマンドを送信するとともに、遊技を統括的に制御する遊技制御手段と、該遊技制御手段からのコマンドに基づいて、各種装置を制御する従属制御手段と、を備え、前記遊技制御手段は、遊技機の電源遮断後においても、前記遊技の進行に関わる遊技情報を記憶保持可能な遊技情報記憶保持手段を備えた遊技機において、前記遊技情報記憶保持手段は、前記遊技情報を記憶保持するアクセス領域と、前記アクセス領域に記憶保持された遊技情報の少なくとも一部とプログラム制御情報とを記憶保持するバックアップ領域とから構成され、前記遊技制御手段は、前記従属制御手段にコマンドを送信する前に、該送信に関わる遊技情報とプログラム制御情報とをバックアップ領域に保存してから前記従属制御手段にコマンドを送信する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

第 2 の発明は、前記遊技制御手段は、前記従属制御手段へのコマンド送信の実行後に、バックアップ領域に保存された遊技情報とプログラム制御情報とを無効化する無効化手段を備える。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

第 3 の発明は、当該遊技機の電源電圧の監視により所定以上の電圧降下で停電発生を検出し停電検出信号を出力する停電検出手段を備え、前記遊技制御手段は、前記従属制御手段にコマンドを送信する前に、該送信に関わる遊技情報とプログラム制御情報とをバックアップ領域に保存するバックアップ手段と、前記停電検出信号に基づいて停電検出時の遊技情報およびプログラム制御情報をアクセス領域に保存する停電処理バックアップ手段と、前記バックアップ手段により保存されたプログラム制御情報または前記停電処理バック

アップ手段により保存されたプログラム制御情報のどちらに基づいて停電復帰するかを選択する復帰アドレス選択手段と、を備え、前記復帰アドレス選択手段は、電源再投入時に、前記バックアップ手段により保存されたプログラム制御情報が有効な場合には、当該プログラム制御情報に基づく停電復帰を選択する一方、前記バックアップ手段により保存されたプログラム制御情報が無効な場合には、前記停電処理バックアップ手段により保存されたプログラム制御情報に基づく停電復帰を選択する。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

第４の発明は、第１から第３の発明のいずれかひとつの発明において、前記遊技制御手段は、前記バックアップ領域に保存した遊技情報とプログラム制御情報とに基づいて、停電からの復帰時にアクセス領域の遊技情報およびプログラム制御情報を復元する復元手段を備え、前記バックアップ領域に保存される遊技情報とプログラム制御情報に復帰アドレスを予め設定し、前記従属制御手段へコマンドを送信する処理の途中に停電が発生した場合には、停電からの復旧時に該コマンド送信処理の予め定められた位置より遊技制御を再開可能とした。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１６】

【発明の効果】

第１の発明では、遊技情報記憶保持手段は、遊技情報を記憶保持するアクセス領域と、アクセス領域に記憶保持された遊技情報の少なくとも一部とプログラム制御情報とを記憶保持するバックアップ領域とから構成され、遊技制御手段は、従属制御手段にコマンドを送信する前に、該送信に関わる遊技情報とプログラム制御情報とをバックアップ領域に保存してから従属制御手段にコマンドを送信するので、従属制御装置に対して、停電を挟んでも確実にコマンド送信処理を行うことができる。

## 【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

第2の発明では、前記遊技制御手段は、前記従属制御手段へのコマンド送信の実行後に、バックアップ領域に保存された遊技情報とプログラム制御情報とを無効化する無効化手段を備えたので、停電からの復帰時に復帰するアドレスの判断材料となる。

## 【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

第3の発明では、当該遊技機の電源電圧の監視により所定以上の電圧降下で停電発生を検出し停電検出信号を出力する停電検出手段を備え、遊技制御手段は、従属制御手段にコマンドを送信する前に、該送信に関わる遊技情報とプログラム制御情報とをバックアップ領域に保存するバックアップ手段と、停電検出信号に基づいて停電検出時の遊技情報およびプログラム制御情報をアクセス領域に保存する停電処理バックアップ手段と、バックアップ手段により保存されたプログラム制御情報または停電処理バックアップ手段により保存されたプログラム制御情報のどちらに基づいて停電復帰するかを選択する復帰アドレス選択手段と、を備え、復帰アドレス選択手段は、電源再投入時に、バックアップ手段により保存されたプログラム制御情報が有効な場合には、当該プログラム制御情報に基づく停電復帰を選択する一方、バックアップ手段により保存されたプログラム制御情報が無効な場合には、停電処理バックアップ手段により保存されたプログラム制御情報に基づく停電復帰を選択するようにしたので、処理によって適当な復帰の仕方を選択することができる。

## 【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

第4の発明では、前記遊技制御手段は、前記バックアップ領域に保存した遊技情報とプログラム制御情報とに基づいて、停電からの復帰時にアクセス領域の遊技情報およびプログラム制御情報を復元する復元手段を備え、前記バックアップ領域に保存される遊技情報とプログラム制御情報に復帰アドレスを予め設定し、前記従属制御手段へコマンドを送信する処理の途中に停電が発生した場合には、停電からの復旧時に該コマンド送信処理の予め定められた位置より遊技制御を再開可能としたので、停電からの復帰後、正常にコマンド送信処理の予め定められた位置より復帰することができる。

## 【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】